

GCAT 予想と戦略 (2024.2.9)

国際司法裁判所の 2024 年 1 月 26 日判決をきっかけに米国 (West : 欧米 G7) の世界独占は終了。変わって BRICS (East) 中心の世界となる。それに従って、帝国主義 (Colonialism) は崩壊し、今まで West に一方的に搾取されてきた East (特に西アジア、南アジア、アフリカ) が West に対する反乱を開始する。

1. ウクライナ戦争 (開戦 2022 年 2 月 24 日) →ウクライナ*の敗戦は決定 (米国の目的であったロシアの弱体化・分断によって中国を包囲することが逆効果となり、ロシアが強くなってしまった。戦う兵士がいなくなった)。

NATO (USA) の領土拡大 (約束違反) に対するロシア (プーチン) の対抗。→ ロシアの歴史感が正しいことが証明された。

NATO (USA) のロシアに対する経済封鎖。→ 失敗 (ロシアは BRICS にエネルギー販売をシフト)。

- (1) G7 < BRICS (G7 よりも BRICS の GDP が上回る)
- (2) ドルとユーロ取引半減 (BRICS 内のドル・ユーロ取引は激減)
- (3) NATO 経済崩壊 (安いロシアの原油・天然ガスの入手 (ノルドストリーム爆破でこのルートはなくなったがポーランド及びウクライナは、何故か封鎖) ができなくなった。特にドイツ: エネルギーコストが 4 倍となった。ドイツは崩壊に向かっている。)

*NATO は、ウクライナに約 7 兆円 (4 年間) Cash を入れることを決定。→用途がないはず。ワイロに搾取されると思う!

2. イスラエル・パレスチナ戦争 (開戦: 2023 年 10 月 7 日) →イスラエルは国として消滅 (World War III 後)。 二国家解決 (イスラエルとパレスチナ) 構想はなくなり、パレスチナ単独となる。

長年のイスラエルのパレスチナ人虐殺に対するパレスチナの反発 (良く計算された対応)。

パレスチナ人の虐殺 (国際司法裁判所: ICJ の 2024 年 1 月 26 日判決。圧倒的 (15/17 裁判官) な決議で南ア主張をほぼほぼ認めた)。

- (1) BRIC(S) →南アフリカ ((S)outh Africa) の提訴 (2023 年 12 月 29 日) に対し

[1] 国連下の ICJ は、ほぼ全面的に南アフリカの主張 (攻撃の即時停止以外) を認めた!

①民族を殺害するな ②その防止をしろ ③証拠隠滅するな ④1 ヶ月後に報告しろ。

[2] ①米国、イスラエル、英国、独国が異論表明。②150 国以上が南アフリカを支持。特にトルコ、マレーシア、インドネシア、南アメリカ (ボリビア、チリ、コロンビア、メキシコなど)、NATO の一部 (ベルギー、フランス)、イラン、パキスタン (核保有)、アラブ連盟 (22 カ国) など。

[3] これから起きること (パレスチナ支持)

- ① アラブ人の 99%がパレスチナ人支持。NATO (USA) を否定。
- ② アフリカ人の大半がパレスチナ人支持。NATO (USA) を否定。
→NATO (USA) は帝国主義。アフリカを搾取する国という認識が高まる。
→金、ウラン、エネルギーを BRICS に供給。NATO (USA) には供給しない。
- ③ West の人々が、イスラエルのパレスチナ人の虐殺（公的約 3 万人。内 70%は子どもと女子。実際は、約 200 万人。イスラエルの目標人数）を知ることになれば、反イスラエルの怒りとなる。

3. これからの世界 **GCAT 予想：第 3 次世界大戦（4 月か 5 月）**

- (1) 米国/NATO の崩壊（ドル・ユーロ・円は主要通貨でなくなる、価値の下落）。
イスラエルは消滅。ウクライナは基本ロシア管理。
- (2) **BRICS の世界**になる。中国・インド・ロシアの台頭。（1920 年代からアメリカの海外戦略の基本となったアメリカの政府転覆政策が暴かれる）
- (3) **アフリカの台頭**。ここが新たに Nationalism、Anti Colonialism（帝国主義）の主戦場になる。
- (4) **金価格の上昇**（5 万円/Kg 時代に突入）。

4. 認識の確認

上記の認識（**注**背景認識（2024.1.21）と GCAT 予想と戦略（2024.2.9））に立ち、GCAT は 2024 年 1 月 21 日に社内検討会を開催し、下記の企業戦略を立案し、翌日から直ちに実行に入ります。

【**注**背景認識（2024.1.21）】

ウクライナとイスラエル/パレスチナ戦争によって、West 対 East の対立が明確となった。West とは、16 世紀以来搾取を重ねてきた国々（G7 など）であり、East とは搾取されてきた国々（BRICS、中南米、アフリカなど）である。

特に、今回のイスラエルによるパレスチナ人約 200 万人に対するガザという狭い地区でのジェノサイド（民族抹殺）は、殺害の対象が人口の 70%を占める幼児、子ども、女子であることが判明している為、West を除く East の人々の怒りが噴出しています。

各地のデモは 100 万人単位です。従って、East の指導者は、国民の怒りに呼応せざるを得ません。一方の West の指導者は報道コントロールによって国民を無知にし、East を野蛮な指導者による非民主的（独裁者コントロール）、非資本主義的（社会主義・共産主義的）な正義なき国々というイメージを作りあげています。しかし、これは事実と反します。事実上、West は搾取グループ、East は被搾取グループです。

パレスチナ人のジェノサイドによって、数世紀に渡る West の搾取に対する East の怨念が爆発しました。この集団的怒りは、イスラエルがなくなる限りは収まりません。West は、イスラエルを無条件で支持すると明言しています。West 国民は、East が気狂い集団だと思い込んでいますから West の指導者をコントロールすることができません。従って、全面戦争 (World War III) がイスラエルで発生します。

5. GCAT 対策

- (1) 2025 年度の海外収入は「0」となる。これを受けて国内事業を 3 月末までにスタートさせる。
- (2) 国内事業は、2027 年以降に国際化できるものに限定する。
- (3) 具体的には、Avian Creation の C12 卵と Nano Spider、BioD の販売。EpoCat の開発。Lotilibcin Topical のライセンス。冬虫夏草の販売 (Companion Animal も含む)。
- (4) 余剰資金を金に転換 (ユーロ・ドル・円は最小限しか保有しない)。
- (5) 半兵衛ガーデンコンサートを積極的に展開する (唯一の Comfort 投資)。これを川端康成プロジェクト、如水会地方プロジェクトにつなぐ。
- (6) 防災訓練を徹底する。

2024 年 2 月 13 日 所源亮 (文責)